

沖縄県久米島町における基本計画の概要

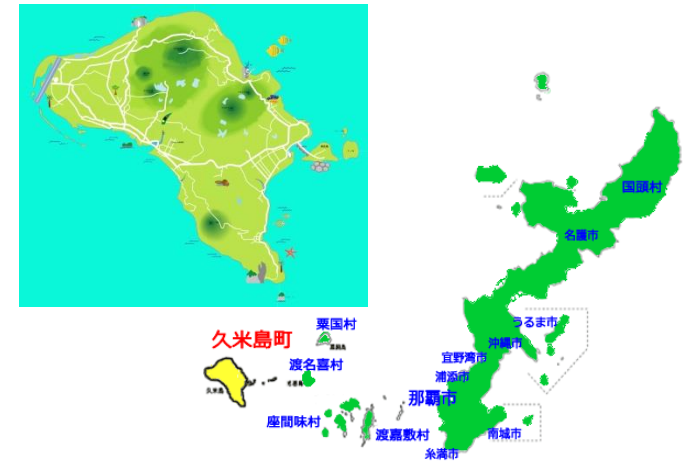
計画のポイント

久米島町における、海洋深層水取水能力は13,000トン/日で国内最大規模。世界ではハワイに次いで2番目の規模を誇る。沖縄県による海洋深層水研究所（平成12年）の開所を契機に深層水の特長（冷熱性、清浄性、富栄養性）を利用した産業利用研究が進んでいる。同研究所周辺に水産養殖業を中心に事業者が集積してきており、より付加価値の高い海洋深層水の活用を目指して、農水産業及び観光産業分野の利用を促進する。

促進区域

沖縄県島尻郡久米島町の行政区域

《促進区域図》



経済的効果の目標

1件あたり平均1億円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を2件創出し、20名の雇用創出を目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①②のいずれか）】

- ①国内最大規模の取水量を誇る海洋深層水を活用した農水産業分野
- ②国内最大規模の取水量を誇る海洋深層水を活用した観光産業分野

要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：2,926万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上げ：16.5%増加 ●雇用者数：18%増加

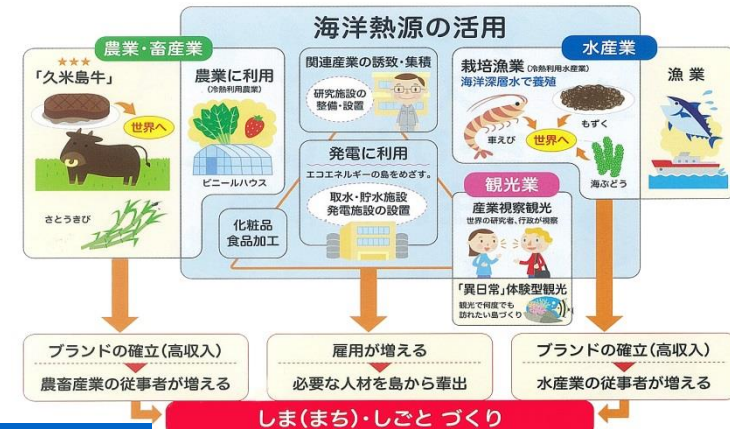
制度・事業環境の整備

- ・地方創生推進交付金の活用
- ・情報発信の充実、相談窓口の整備、事業者自身の経営基盤・必要に応じて地域への定着、事業の立ち上がり時期、安定成長期、離島故の物流面の支援等の総合支援体制の整備

地域経済牽引支援機関

沖縄県海洋深層水研究所、公財）沖縄県産業振興公社、久米島商工会、久米島観光協会、琉球大学等

《地方創生の核としての期待（久米島町地方創生総合戦略）》



計画期間

計画同意の日から令和5年度末日、又は令和5年度末日までに改めて新基本計画を作成する場合は、当該新基本計画の同意日の前日のいずれか早い日まで。